

みやぎGPNニュース



今回の
内容

- 代表幹事 GPN30周年への想い
- みやぎゼロカーボンチャレンジ2050県民会議 アクションbyみやぎGPN
- 会員からのお知らせ

2024.6

Vol.29

●グリーン購入ネットワークの30周年にむけて
(東北大学未来科学技術共同研究センター・特任教授)

代表幹事 猪股宏



グリーン購入ネットワーク(GPN)は「グリーン購入が環境配慮型製品の市場形成に重要な役割を果たし、市場を通じて環境配慮型製品の開発を促進し、ひいては持続可能な社会の構築に資する極めて有効な手段である」という認識のもと、グリーン購入に率先して取り組む企業、行政、民間団体等の緩やかなネットワーク」として1996年に設立された非営利団体で、今期が29年目、来年は30周年に当たります。30年を迎えるに際して思うことを整理し、原点を意識して新たな活動を考え・展開するためのヒントにしたいと思います。

さて、1996年にGPNが設立された4年後2000年に、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律～グリーン購入法」が制定されました。この経緯に鑑みれば、グリーン購入ネットワークの活動対象は、法律である「グリーン購入法」の範疇を包含する、もっと広いものであることは自明であります。つまり、国や自治体のみならず、民間団体や我々一人ひとりが、持続可能な社会構築・運用維持を目指した行動をすることが、本質的なグリーン購入活動ということになるかと思えます。昨今では、グリーン購入とSDGsとの関係が議論されることが多く、GPN本部でもSDGsを冠した活動が多くなっており、世間でも「グリーン購入」よりは「SDGs」の認識が多数派というのが現状でしょう。

このような時勢ですが、個人的には名称にこだわることなく、本質的な趣旨に立ち返り、本来の目的にベクトルを合わせた行動をすることが、「グリーン購入」のゴールであり、環境保全や持続可能という概念の実現に資するものと考えます。

「グリーン」の解釈と「購入」という文言のイメージがGPN周知の減速要因であったことから、SDGsの採択を契機としての展開かと推察しております。目指すところは共通しているため、問題が生じることはないし、むしろ良い契機になればとも思っています。みやぎGPNでも同様の展開を促進していきたいものと思っています。

2024年になり終末時計が「90秒」と発表されました。戦争・抗争勃発が秒針をすすめたようですが、最近の気候をみると地球温暖化の影響が顕著に身近に認識されるようになりました。個々人としては、何ができるのか？とも考えますが、目前の課題を自分自身の経験と知見に照らし合わせて、環境判断を行った結果、良かれという方向に舵をきるものが、グリーン購入行動なるシナリオではないでしょうか？

カオス的な私見を長々と述べましたが、会員団体の皆様におかれましては、普段の活動の活性化を心がけて頂ければ幸甚でございます。

●みやぎゼロカーボンチャレンジ2050県民会議

5月に申請を行ったみやぎゼロカーボンチャレンジ2050県民会議。早速、事務局に会員登録証が届きました。同封されていた取り組みについて2件ご紹介させていただきます。

👉エコチャレンジみやぎ

①参加しよう！参加登録は無料です。②ポイントを貯めよう！

スーパーやコンビニなどでエコアクション。③抽選に参加しよう！30ptごとに抽選で商品ゲット。「ワンウェイプラスチックの辞退」「COOL CHOICEへの賛同」などみやぎecoアクションメニューは盛りだくさん

◆お問い合わせ：株式会社ユーメディア 050-2018-2198まで

👉うちエコ診断 無料

「うちエコ診断」を活用して脱炭素経営を進めましょう。

省エネに関する知識を持つ「うちエコ診断士」が、ご家庭の年間エネルギー使用量や光熱水費などの情報をもとに、地域、家族構成などから各家庭のライフスタイルにあう省エネのアイデアや二酸化炭素排出量の削減への取り組みを提案します。

◆お申し込み先：ストップ温暖化センターみやぎ 022-301-9145まで



●ゼロカーボンアクション30—日常生活における脱炭素行動と暮らしにおけるメリット(COOL CHOICE) 環境省

衣食住・移動・買い物など日常生活における脱炭素行動と暮らしにおけるメリットを整理しています。

1. 電気等のエネルギーの節約や転換

- (1)再エネ電気への切り替え (2)クールビズ・ウォームビズ (3)節電:スイッチ付きコンセントの導入など
- (4)節水・水道費の節約: 食器の汚れを落としてから水を溜めて洗う、すすぐなどの工夫
- (5)省エネ家電の導入: 家電の消費電力を見える化してみよう
- (6)宅配サービスをできるだけ一回で受け取る: 置き配ボックスの利用 (7)消費エネルギーの見える化

2. 住居関係

- (8)太陽光パネルの設置・自宅に電源を持ち、余剰分は売電することが可能になる。
- (9)ZEH(ゼッチ):「ZEH(ゼッチ:ネット・ゼロ・エネルギーハウス)」とは、住宅で使う一次エネルギー(電気に変換される前の石炭や天然ガスなどのエネルギー資源)の年間消費量が、おおむねゼロの住宅のことです。実際に一次エネルギーをまったく消費していないのではなく、断熱性能と省エネ性能を高めて消費量を減らしつつ、創エネ性能を高めて再生可能エネルギーを生み出し、それらを合わせることで消費量が実質ゼロ以下になっている住宅を指します。
- (10)省エネリフォーム (11)蓄電池(車載の蓄電池)・蓄エネ給湯機の導入・設置 (12)暮らしに木を取り入れる
- (13)分譲も賃貸も省エネ物件を選択 (14)働き方の工夫

3. 移動関係

- (15)スマートムーブ・徒歩、自転車・公共交通機関で移動 (16)ゼロカーボン・ドライブ

4. 食関係

- (17)食事を食べ残さない (18)食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫・食べ切れる量を買う
- (19)旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活 (20)自宅でコンポスト

5. 衣類、ファッション関係 ;まさしくグリーン購入!

- (21)今持っている服を長く大切に着る (22)長く着られる服をじっくり選ぶ (23)環境に配慮した服を選ぶ

6. ごみを減らす

- (24)マイバッグ、マイボトル、マイ箸、マイストロー等を使う・家庭ごみの減量 (25)修理や補修をする
- (26)フリマ・シェアリング (27)ごみの分別処理

7. 買い物・投資 (28)脱炭素型の製品・サービス (29)個人のESG投資

8. 環境活動 (30)植林やごみ拾い等のボランティア活動

●会員からのお知らせ

◆【SDGsマルシェ: SDGs マルシェ 2024 何ができている? -持続可能な地球のために-】

日程:2024年6月30日(日)10:00~16:00

会場:仙台市サンモール一番町商店街アーケード内

主催:尚綱学院大学 SDGsマルシェ事務局

10の高校、13の企業・団体、そして本学4つのゼミが参加し、SDGsに関する取組みや調査結果について、展示・発表・ワークショップ等のブースを展開します。今回のイベントは、アーケードを訪れた方々が、高校生や大学生、企業等の取り組みに触れることで、SDGsに関連した様々な問題についての関心と理解を深めていただくとともに、活動に参加するきっかけづくりや意欲向上につながる機会になればと実施されます。

<問い合わせ先> 尚綱学院大学 教育研究支援課(大学広報室:原田) TEL:022-381-3502

◆【ミズベリングin七ヶ宿ダム~水辺で乾杯~】

日程:2024年7月7日(日)10:00~19:00

会場:七ヶ宿湖周辺道路及び七ヶ宿ダム管理所内

主催:NPO法人水守の郷七ヶ宿 0224-37-2171 又は 7gakko@gmail.com

協力:七ヶ宿ダム管理所・七ヶ宿町・七ヶ宿町観光協会

まだまだ、十分に活用されていない日本の水辺。ミズベリングは、新しい水辺の活用の可能性を切り開くための官民一体の協働プロジェクトです。語源は、「水辺+RING(輪)」、「水辺R(リノベーション)+ING(進行形)」。宮城県民193万人の水瓶七ヶ宿ダムの水辺で市民や企業、行政が三位一体・ひとつの輪となり、持続可能な水辺の未来に向けて考え、水辺と親しみ、水辺で交流し、新しい水辺と社会の関係を生み出すムーブメントを起こす 為イベントを開催します。



■情報発信(毎週更新) えしかるちゃんと一緒に考えよう!

☞こちらからどうぞ

■発行・編集 みやぎグリーン購入ネットワーク事務局

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈三丁目10-6 TEL.022-218-5451 FAX.022-375-7797

Email: mi-green@miyagigpn.net ホームページ: <http://miyagigpn.net>

■今年度より、会員の皆様の情報を広く伝えていくために「みやぎGPNメール通信」を発行しています。新製品、新サービスに加えイベントなどの情報をお寄せいただき、オールみやぎで持続可能な社会実現にむけ進んで参りましょう。

